

# くじらぶレター

海響館  
ホエールボランティア

©whale artist あらたひとむ×海響館ホエールボランティア

発行所及び編集所：下関市立しものせき水族館 海響館  
〒750-0036 下関市あるかぼーと6番1号 TEL 083-228-1100 FAX 083-228-1139  
E-mail: kujira@kaikyokan.com

2014年11月30日 発行

発行人及び編集人：海響館ホエールボランティア事務局

平成二十六年十一月三日(月・祝)、東海大学の教授 村山司先生をお招きし、『ことばを覚えたシロイルカ—イルカの知能と言語—』と題した講演会を実施しました。その内容は、村山先生が今年の国際学会誌で発表された話題になったイルカがヒトの言葉をまねられるという研究の成果を中心としたもので、参加された五十四名の方々は大変興味深く聴いておられました。

最初は鯨類の分類についての話から始まり、進化の話や視覚や聴覚などの感覚についての話、そしてイルカたちが水中です音の話など、鯨類について詳しく解説がありました。次に村山先生がこれまでに行

海響館講演会



ことばをおぼえたシロイルカ  
—イルカの知能と言語—

講演者 村山司 教授  
(東海大学)

平成26年11月3日(月/祝) 14時より ※参加費無料  
場所：海響館1階イベントホール(1階の無料ゾーンからも入場頂けます)  
お問い合わせ先：(083)228-1100 (撮影：牛山朋)

った研究の話へと移り、まずは脳の重さやしわなどからイルカの脳はヒト並みに発達していることから目の錯覚の実験を行ったところ、イルカは人と同じように錯覚をすることがわかったというものでした。さらにイルカは鏡を見て自己認知\*するのか?という疑問から村山先生が鴨川シーワールド(千葉県)のシャチで実験を行った話では、シャチに鏡を見せるという方法で、シャチたちは興味深く鏡を覗き舌を出したり、横向きになって胸ビレを水面に打ち付けてみたりと様々な行動が見られました。先生によると、シャチは鏡に映る姿が自分と認識しているという結果だということ

でした。そして、この講演の本題であるシロイルカの研究について話が進みました。この研究の主役は鴨川シーワールドのシロイルカ「ナック」です。人間は物を見てその物の名前を認識し、物の名前を発することが出来ます。イルカも物や記号を認識し、イルカ語で発することが出来るのではないかと、このことからナックに様々な実験を行いました。ひとつは物を見分けてそれぞれの名前を鳴き分けるという実験で、ナックはフィンやバケツなど四つの物を鳴き分けることが出来ました。次に四つの物をそれぞれ記号と結び付け、物を見て記号を見ても鳴き分けたり、物を見て記号を選ばずなど、ナックはヒトと同じように四つの物の名前を覚えることが出来たのです。

ナックに音をまねさせる実験の話では、最初はスピーカーから聞こえる自分の声をまねさせ、次にコンピューターで作った人工的な音、そしてトレーナーが発する言葉をまねさせており、特にトレーナーが発する「びよびよ」、「おはよう」、「おほほほ」などの言葉を見事にまねているナックの映像に、参加者の歓声があがりました。

村山先生は現在もナックとの研究を続けられており、ナックはこれまでに九種類以上の言葉をまねできているそうです。また研究する中で、ナックはたまにまねたりしているのではなく、間違えても自分で考え、修正するところがありとても賢いと話されています。村山先生は、将来ナックと会話できるようになることを目標とし、さらに研究を進めていけるそうです。これから新たな研究成果が出てくることへの期待と、イルカの更なる魅力を発見できた講演となりました。(相磯)

\*自己認知とは、……：自分自身の価値観や、長所・短所を把握すること。

# ☆定点観測継続中☆

今号では七月から十月までの観測の様子を掲載します。

今回の観測では毎月スナメリの姿が発見されており、特に十月は二十八頭ととても多く観測されています。また、今年の夏は例年より海水温が低く、これまでの夏に比べ、スナメリが岸の近くまで接近し魚を追いかける姿を見ることができたと見えたり、ジャンプして逃げる魚をスナメリが追いかける様子などが観測されています。また、七月、八月には三軒屋海岸に百名以上の方が来られ、スナメリの姿を初めて見た方はとても感動されていたそうです。九月にはわざわざ東京からスナメリを見に来られた方もいたようで、多くの方に三軒屋海岸を知ってもらうことが出来ました。

またニュースにもなりましたが八月の観測中、山陽小野田市の中国電力も火災があり、黒煙がもくもくと立ち上がる様子を上崎さんが目撃しています。九月には東屋にスズメバチが巣を作り、刺されなかつたもののスズメバチと戦いながらの観測となったようです。厳しい状況の中での観測、ありがとうございます。これからは厳しい寒い中での観測となりますが、体調を崩さないよう、十分お気を付け下さい。観測員のみなさん、引き続き観測よろしくお願ひします。

## 【観測員の観察状況】

定点観測は以下の方々が行って下さいました。皆さんご協力ありがとうございます。

七・八・九月 上崎さん・浦岡さん

十月 上崎さん・浦岡さん  
福井さん・南山さん

※お詫びと訂正

くじらぶレター二十八号の定点観測の文中にて、六月は一頭も観測されていないと記載しましたが、約十頭確認されていました。お詫びし、訂正いたします。

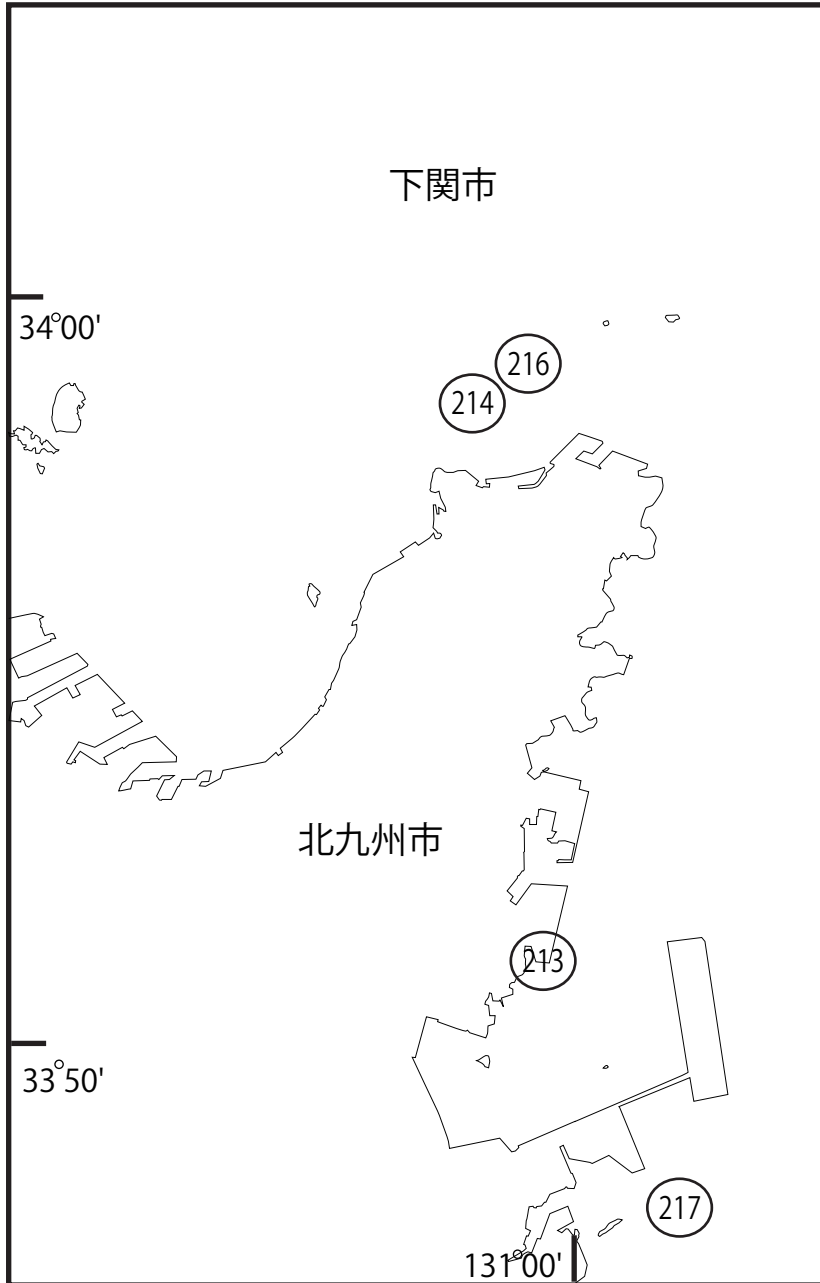
## ストランディング報告

ここでは海響館が調査したストランディングの情報を紹介していきます。

データは二〇一四年七月一日〜二〇一四年十月三十一日までのものです。

### 【地図の見方】

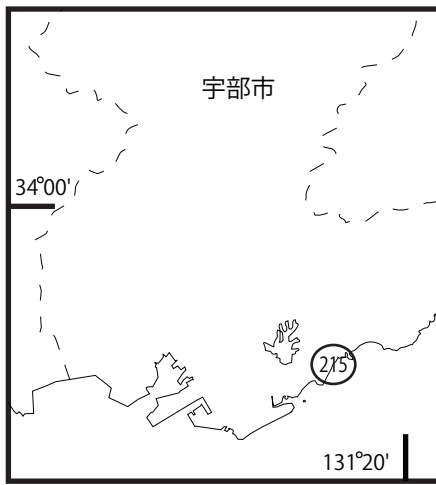
地図上に示されている番号は、それぞれストランディングレコードの番号と一致しています。番号はくじらぶレター一号からの通し番号です。また、○で表した番号は死亡個体で、□で表した番号は生存で発見された事を意味しています。なお、以前の情報は、前回までのくじらぶレターを参考にして下さい。



213 発見日: 2014年7月2日  
種: スナメリ 性別: メス  
生死: 死亡 体長: 約150 cm  
状態: 腐敗強度 区分: 海上漂流  
発見場所: 北九州市門司区  
新門司3丁目地先

214 発見日: 2014年8月21日  
種: スナメリ 性別: 不明  
生死: 死亡 体長: 約150 cm  
状態: 腐敗強度 区分: 海岸漂着  
発見場所: 下関市長府浜浦町  
地先

215 発見日: 2014年9月22日  
種: スナメリ 性別: メス  
生死: 死亡 体長: 約150 cm  
状態: 腐敗強度 区分: 海岸漂着  
発見場所: 宇部市大字西岐波  
地先



216 発見日:2014年9月26日  
 種:スナメリ 性別:メス  
 生死:死亡 体長:約105cm  
 状態:腐敗強度 区分:海岸漂着  
 発見場所:下関市長府外浦町  
 地先

217 発見日:2014年10月30日  
 種:スナメリ 性別:メス  
 生死:死亡 体長:約95cm  
 状態:新鮮 区分:混獲(死亡)  
 発見場所:福岡県京都郡苅田町  
 新浜町神ノ島  
 東方約800m沖合

## 発見日・場所

※2006、2014年の情報は一般の方から頂きました。

個体番号	2006	2013		2014
	7/25	3/20	4/18	3/16
	仙崎	角島	川尻	角島
TY001		●	●	
TY002		●	●	●
TY003		●	●	●
TY004	●	●	●	●
TY005	●	●	●	●
TY006		●	●	
TY007		●		●
TY008		●		●
TY009		●	●	●
TY010		●	●	●

日本海で発見された  
バンドウイルカ属

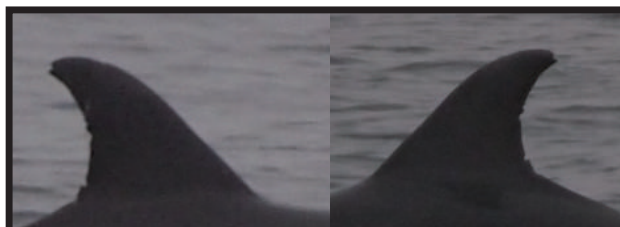
海獣展示課 久志本が山口県の日本海側でバンドウイルカの仲間と思われる鯨類の群れを発見しました。県内での発見例は非常に珍しく、一般の方から頂いた情報も交えて背びれの傷跡から個体識別を行ったところ、二〇一三年と二〇一四年に八頭の同一個体が発見出来たとのことです。もしかするとこのあたりの海域に毎年来遊しているかもしれません。皆さん海を見るときはスナメリだけではなくイルカも探してみてくださいはいかがでしょう。



\* ( ) は個体識別できなかった群れ



TY001



TY002



TY003



TY004



TY005



TY006



TY007



TY008



TY009



TY010

●各種御連絡・質問はこちらまで  
電話 (083)2228-1100  
FAX (083)2228-1139  
メール kujira@kaiyokan.com  
海獣展示課

立川 原田(一)相磯

編集後記  
くじらぶレター第二十九号をお届け  
します。十一月に行われた講演会には  
ホエボラからも多くの方に来場して頂  
きありがとうございました。毎年好評  
を頂くこの講演会、来年はどんな内容  
になるのが皆さん楽しみにしてい  
て下さいね。  
原田(一)



特徴なし



幼獣